

東北農政局長賞

佐藤勘六商店

(食品産業部門)

取組の概要

食文化の衰退が懸念され、また、いちじく産地における収量の落ち込みや担い手の高齢化が進む中で、秋田県の伝統食である「いちじく甘露煮」のブランド形成の取組を開始しました。いちじく加工品の新開発、また、需要提案イベント「いちじくいち」を開催しています。

取組の工夫

いちじく生産の次代を担う若手生産者のモチベーション向上を重視しています。「いちじくいち」の開催は若手生産者との共同運営とし、地域の力による開催を続けています。販売網の確立に伴い、生産者は徐々に栽培面積を増やしており、また、冷凍技術の習得により周年での原材料提供が可能となったことから、市場規模が大幅に拡大しました。「いちじく甘露煮」以外にも、ドライいちじく、いちじくソフトクリーム、いちじくピネガー等の新商品を開発しています。



【いちじく甘露煮】



【いちじく料理講習会】



【「いちじくいち」会場前の賑わい】